

米子市生活排水対策の検討結果について

1 検討結果概要

生活排水対策未整備地域を対象に、下水道（集合処理方式）及び合併処理浄化槽（個別処理方式）のどちらの手法が有利であるか経済比較検討を行い、公共下水道が有利である結果を得た。

2 経済比較検討内容

(1) 実施時期 平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月

(2) 比較検討手法

新三省マニュアル<sup>※</sup>に基づき検討を行った。

※「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」  
（国土交通省、農林水産省、環境省）に基づき検討を行った。

(3) 経済性を基にした集合処理方式及び個別処理方式の判定方法

① 検討ブロックの設定

生活排水対策未整備地域の弓浜地区を検討範囲とし、地形、地物界等を把握し、検討ブロックを設定する。（別添資料参照）

② 検討ブロック毎の集合処理方式及び個別処理方式の判定（1年1戸当りの費用比較）

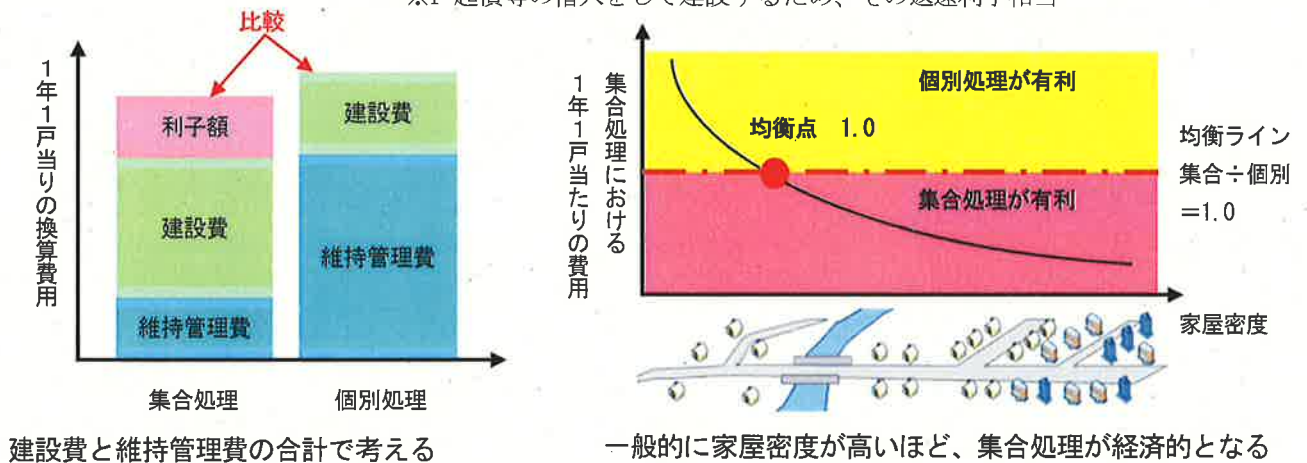
※総合計画の人口推計値を基に平成 4 8 年時点の世帯数で比較検討を行う

判定値＝

$$\text{【集合処理費用（建設費・維持管理費・利子額※1）】} \div \text{【個別処理費用（建設費・維持管理費）】}$$

判定値が 1.0 を下回る場合は集合処理方式が経済的に有利な手法となる。

※1 起債等の借入をして建設するため、その返還利子相当



(4) 判定結果（別添資料参照）

新三省マニュアルにおける集合処理方式、個別処理方式の経済比較検討結果では、全 35 検討ブロックの内、33 検討ブロックで集合処理方式（下水道）の整備が有利である結果となった。

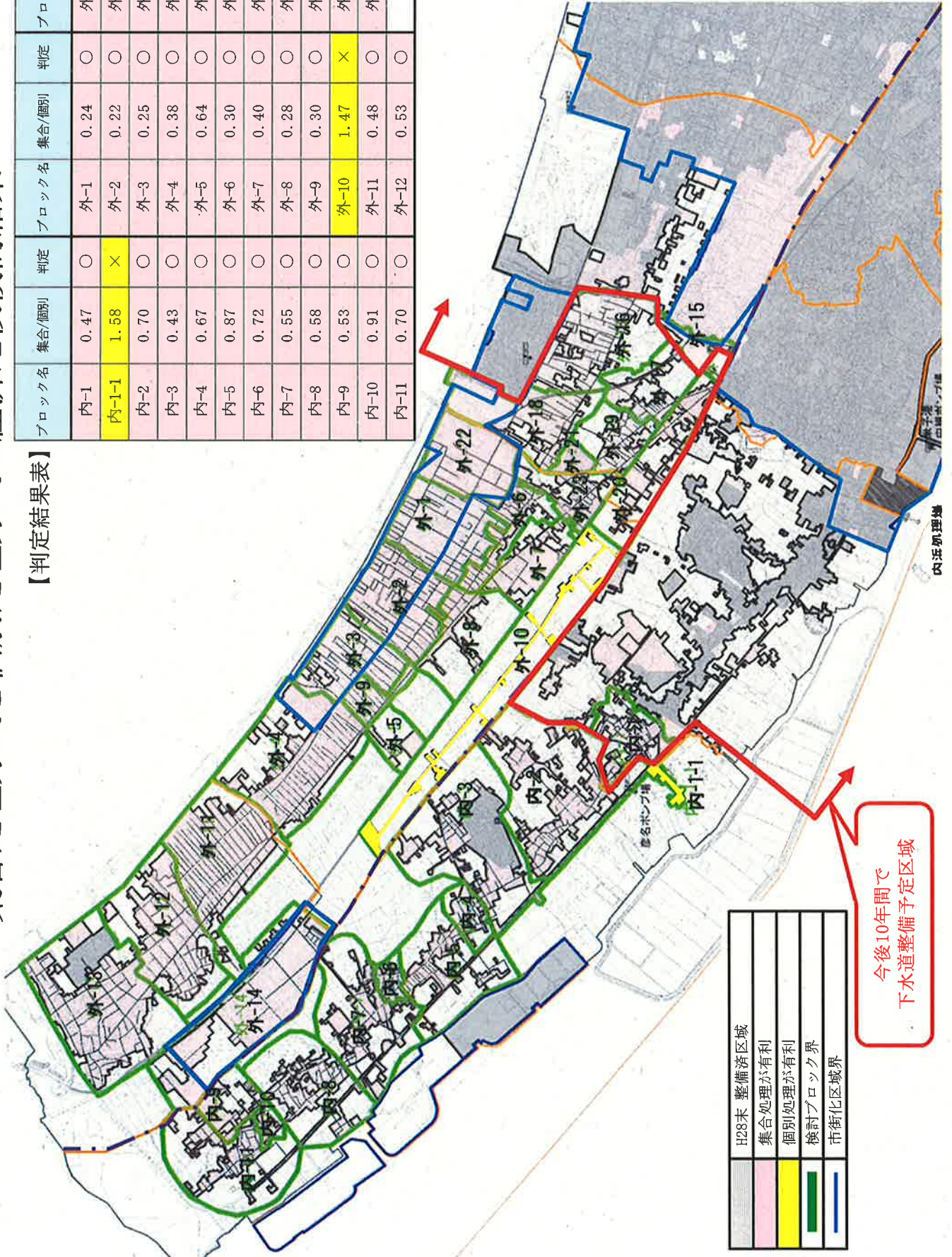
3 今後の課題

生活排水対策の整備手法として集合処理方式（下水道）が有利であるが、整備には長期間を要することから、時間軸の視点を踏まえた対策が必要である。

# 集合処理方式と個別処理方式の経済比較検討結果

【判定結果表】

ブロック名	集合/個別	判定	ブロック名	集合/個別	判定	ブロック名	集合/個別	判定
内-1	0.47	○	外-1	0.24	○	外-13	0.40	○
内-1-1	1.58	×	外-2	0.22	○	外-14	0.58	○
内-2	0.70	○	外-3	0.25	○	外-15	0.33	○
内-3	0.43	○	外-4	0.38	○	外-16	0.30	○
内-4	0.67	○	外-5	0.64	○	外-17	0.44	○
内-5	0.87	○	外-6	0.30	○	外-18	0.45	○
内-6	0.72	○	外-7	0.40	○	外-19	0.36	○
内-7	0.55	○	外-8	0.28	○	外-20	0.30	○
内-8	0.58	○	外-9	0.30	○	外-21	0.07	○
内-9	0.53	○	外-10	1.47	×	外-22	0.31	○
内-10	0.91	○	外-11	0.48	○	外-23	0.34	○
内-11	0.70	○	外-12	0.53	○			



	H28末 整備済区域
	集合処理が有利
	個別処理が有利
	検討ブロック界
	市街化区域界

今後10年間で  
下水道整備予定区域